# 徳島大学環境防災研究センター
# 九州北部豪雨災害調査報告会

7月11日から14日にかけて、本州付近に停滞した梅雨前線に向かって南から非常に湿った空気が流れ込み、九州北部を中心に深刻な豪雨災害が発生しました。この大雨により、熊本県，大分県，福岡県などで河川氾濫や土石流が発生し，死者・行方不明者は32名に達しました.

徳島大学環境防災研究センターでは，京都大学防災研究所自然災害研究協議会の支援を得て，7月28日～31日に災害調査団を派遣し，被害と復旧状況の把握に努めました．調査結果について報告します。

日時：平成24年8月31日（金）
14時～16時半（開場13時半）
会場：徳島大学工業会館 2F
メモリアルホール
（徳島市南常三島町2-1）
主催：徳島大学環境防災研究センター，
京都大学防災研究所自然災害研究協議会
後援：土木学会四国支部徳島地区部会，国土交通省
四国地方整備局，（社）四国建設弘済会
お問合せ・お申込み：
電話／FAX（088）656-8965
office@rcmode.net
環境防災研究センター・斎藤

## 報告内容

九州北部豪雨災害の概要と白川の氾濫
（宇野宏司・客員准教授・防災科学部門）
筑後川・矢部川水系における被害状況
（武藤裕則・教授・防災科学部門）
阿蘇市周辺の土砂災害
（西山賢一・准教授・防災科学部門主任）
熊本・黒川沿川の事業所被害と対応
（高西春二・大学院博士後期課程学生）
阿蘇市内の学校の被災状況と対応
（中野晋・教授・副センター長）
（※一部，内容変更の可能性があります）

入場無料